

## 「お茶のみサロン」「ふれあい会食」どうしてる?!

社会福祉部会の活動で、地域委員会の「住み良い信里」に位置づく大切な活動です。コロナ禍で中止になっていたり規模を縮小して開催したりしていた地区もあるようですが、昨年後半から徐々に再開されてきています。また、開催方法に見直しがなされたことから5月21日には社会福祉部会により事業説明や研修会が開催されました。そこで変更点などを紹介しながら、「お茶のみサロン」や「ふれあい会食」が各地区でどのように行われているかその実際について調べました。

### 事業内容（令和6年）

	目的・内容・対象者	助成金について
ふれあい会食	目的；会食会を開催し高齢者世帯の孤立感を和らげ生活の自立を援助する。 対象者；夫婦どちらか、または両名が75歳以上のみの世帯。 区長、副区長、民生児童委員、健康福祉推進員、日赤奉仕団、ボランティア	住自協が1名につき500円、月1回年10回まで助成する。事業終了後実施報告して請求する。（2カ月ごとまとめて奇数月の15日までに）
お茶のみサロン	目的；交流の場（簡単な茶菓子程度）を通して日常的なつながりをつくる。 対象者；地域住民全員	1回3,000円年11回補助。前期は9月に実施報告10月交付、後期は2月に実施報告3月交付

※長野市が実施する友愛活動事業があり、「ふれあい交流会」と名称も変更され、地域社会から孤立する恐れのある高齢世帯向けのものです。これは、今年度「食事の提供は必須とせず参加しやすい内容で交流を図る」と見直されました。

※社会福祉部会資料を参考にしました。詳しくは住民自治協議会、福祉部にご確認ください。

### 令和5年度の様子

	令和5年度
ふれあい会食	4地区で実施 1地区は単独で。コロナ前は2回開催してきたが1回に減らして再開。催し物は「そら豆の会」の紙芝居上演。 有旅は3地区合同で小学校の多目的ホールを会場に2回開催。紙芝居やフレイル予防（はつらつ体操・口腔体操）
お茶のみサロン	ほとんどの地区で3回程度開催。おしゃべりを楽しむ茶話会形式からフレイル予防、紙芝居上演。手芸や折り紙を楽しんだり、年賀状作り、卓球などイベント企画も盛りだくさん

### 感想 今後に向けて

「ふれあい会食」は高齢者を対象に多くのスタッフやボランティアが関り対象者の送迎や移動の介助など大掛かりなためか、開催している地区は少なく、3地区合同で行っているところもあります。ただ「お茶のみサロン」はほとんどの地区で3回程度開催しており、内容も茶話会にとどまらずフレイル予防にも取り組み、スポーツや手芸を楽しむなど「ふれあい会食」にも匹敵するような内容で実施されています。

事業の目的や内容を再確認することで、「お茶のみサロン」は内容を従来の茶話会とし開催時の負担は軽くするが、新規住民や様々な世代の参加が促せるよう土日、祝日の開催を工夫していけたらよいのではないのでしょうか。

「ふれあい会食」については、高齢者の自立を促す目的であることを再確認し、高齢者が参加しやすいことを第一に、様々なイベント企画を盛り込んだものとされていますが、近隣地区合同開催を検討することで、運営や補助金申請などにまつわる事務などの負担を軽減するといった工夫が求められていると感じました。

## 長野市初のワイナリー誕生

5月10日（金）に、善光寺平一望する有旅の丘に、長野市初のワイナリー「有旅ワイナリー」が完成し晴天の下、荻原健司市長をお迎えして盛大に竣工式が開催されました。

信里地区の皆様には先行して3月24日（日）にワイナリーの内覧会を開催しましたところ、当日は90名近い見学者が来訪され熱心に施設内の見学をして頂き地域での関心の高さが感じられました。

式典では来賓の荻原健司市長から、「夢がかなったような気分です。地元でワインブドウが生産され、地元でワインが造られることを通じて長野市、篠ノ井地区の地域活性化につながると確信している」とのお話もありました。

田中啓社長からは「良いものをつくることに専念して、自分の人生をかけて一切妥協しないワインをこれから作って行きたいと思います。」との力強い決意表明もされました。

ワイナリー周辺の農地がブドウ畑に生まれ変わったことにより、素敵な景観に生まれ変わりました。この地にワイナリーの建設が決まったことを受けて、快く圃場の提供をして頂いた皆様方のご協力に心より感謝申し上げます。

天気の良い日はワイナリーからは善光寺平が一望でき、少し圃場の上に行くと、北アルプスの山なみも一望できる最高のロケーションとなっております。圃場周辺を思わず散歩したくなるような気分になる場所に生まれ変わろうとしています。9月からは、醸造が行われる予定です。ワイナリーより、この場所を利用して地元農産物を販売する「朝市」のようなものの開催企画の提案もあるようです。

### 信里地域委員会副委員長 島田賢一



また、ワイナリーの応援団として、ワインに興味のある方を中心に「有旅ワイナリー倶楽部」なる、地域応援団組織も昨年誕生しました。今後はワイナリーと連携を図りながら、企画する行事等の支援や参加、ワイン試飲会や講座等の企画や開催などを通じて地域の皆様との窓口になるような活動も始まっていきます。

有旅の地名の由来は、当地より安曇(あづみ)地方へ達する坂道を越える者は、篠ノ井(ささい)神社へ祈願をして頌歌(しょうか)【ほめたたえる歌。賛歌】を謡い登るを例としたことにより謡(うたい)村(むら)、有旅村が起こったということです。(篠ノ井風土記より)

有旅ワイナリーの誕生により、信里地区を代表する新たな名所となって地域の皆さんの頌歌(しょうか)に代わり、ここに集う地域の皆様の喜びの声が湧きおこることを期待しています。



### 消防団 大健闘

令和5・6年度篠ノ井第5分団分団長を務めさせていただいております内山と申します。日頃より地域の皆様方には消防団活動にご理解ご協力頂き誠にありがとうございます。私たち消防団は地域の安全、安心の為に日夜全力で活動しております。各団員とも自身の健康家庭を一番に考えつつ有事の際には全消防団が一丸となり地域住民の皆様暮らしを守るように心がけております。

今年は第46回長野市消防団ポンプ操法・第41回長野市ラッパ吹奏大会に篠ノ井第五分団が出場しました。上位入賞を目指し、早朝より霧の中、小雨の中、川中嶋カントリー駐車場

### 分団長 内山岳佳

をお借りして4月14日～6月8日まで練習を行ってまいりました。6月9日に開催された長野市大会では練習の成果を十分に発揮し全力を尽くし、ポンプ操法8位、ラッパ吹奏4位という結果を納めました。今後とも地域の皆様方には今までと変わらぬご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 元気な信里

## 清茂先生ご生誕百十周年

思いを深め楽しさを広げたい

小山清茂記念信里混声合唱団 副団長 大久保 邦良

小山清茂先生のご生誕百十周年の大事な節目の年を迎えました。また奇しくも、若干年前まで信里小学校にご奉職いただいた宮川史枝先生を新しい指導者・指揮者としてお迎えすることが出来ました。正に清茂先生が、目に見えない絆の糸を結んでくださったように思われてなりません。

平成二十二年に地元の合唱団が結成されて十四年目。沢山の皆様のご支援ご協力をいただきながら、メモリアルコンサートをはじめ「のぶさと祭り」「小学校の校内音楽会」等で発表の場をいただけてきました。

現在、団員は十五名とだいぶ少人数になってしまいましたが、月一回の定例練習日は以前に増し

て高揚感に満ちております。

一つの曲に思いを深め、一語一語、フレーズフレーズに心寄せて歌いあげていく楽しさは青空を駆けるような楽しさです。

お願いがあります。この楽しい輪にご一緒していただける方（入団者募集・歓迎）を団員一同心より願っております。

「故郷信里は永遠なり」こよなく信里を愛した清茂先生の真心に改めて心をいたし、私たち合唱団はこれからも誇り、感謝を常に胸に抱きながら未来志向で歩んでいきたいと思っております。



今年から「信里讃歌」がテーマ曲です！

♪信里に生まれて よかったな  
自由 元気 助け合い (中略)  
明るい声が 大空に響く  
信里はやさしい 心のふるさと ♪

◇団員募集◇  
電話026-229-2814  
担当：大久保

## 新たに合唱団の指揮者になって

宮川史枝

音楽教師だったとき日本を代表する作曲家小山清茂先生は教科書の中の人でした。平成27年度から4年間、信里小学校在職中は豊かな自然と優しさに包まれた幸せの中で、美しく健やかに生きることを信里の皆様にご教いただきました。当時、小学校で開催されたコンサートでオーケストラ・ソノーレ長野が演奏する「管楽器のための『もぐら追い』『信濃囃子』」を聴いたときの感動は今も忘れません。曲の原点である信里を知り信里で聴くこれからの作品は味わい深いものでした。そしてまた、小山令夫人とお話できたことは、清茂先生を近くに感じられた出来事でした。



この度ご縁をいただき、小山清茂記念信里混声合唱団の指揮者を務めさせていただくこととなりました。身の引き締まる思いです。信里の語りかけを感じながら楽しく歌っていきたく思います。私のアナザースカイである信里に戻ることができたこととてもうれしいです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 太極拳教室

星野 みえ子

私達太極拳教室は平成20年7月数名の集まりの中で、「太極拳ちょっとやってみようね」「村山にすばらしい資格を持つ先生がいらっしゃるし！」という事でさっそく先生にOKを頂き、地域の方々に声かけし始めました。最初はなにがなんだかわからず、自分の姿が見えない事をいい事に、隣の人の滑稽な動きに大笑いしたりと和気合々の雰囲気、男女それぞれ数人ずつ入ってくださり十数名となりました。その間に、難しいとやめてしまったり又新しく入って来たりと人数も増えたり減ったりで今に至りました。そんな17年間に入門、カンフウセン、24式、総合と教えて頂きました。練習しながら、ふっと忘れて「あれ？」と思う事も度々ですが、大きく息を吸い、ゆったりと動く等

せつちな私には落ち着いた時となります。現在数名のメンバーで心身共に無理のない程度と言う事で、月1度の練習日、休憩中には楽しく語らいの場となり、時には名医になったり、料理や近況等の話に花が咲きます。元気がぎり、ゆったりと動き、普段使わない筋肉を動かし、大きく息を吸い、健康の為にメンバーと一緒にこれからも楽しんでいきたいと思っております。



## 詩吟・詩舞の会

宮下 ひで子

「鞭声粛々夜河を過る...」（べんせいしゆくしゆくよるかわをわたる）この詩吟どこかで聞いたことがあるかと思えます。李白・杜甫・吉田松陰・佐久間象山など著名な方が沢山の漢詩を遺されております。詩吟は漢詩や短歌、俳句などに節をつけて朗詠する日本古来の伝統芸術です。趣味と健康の為に始めた詩吟も月一回、青木先生のご指導の下、三十年になりました。当初は呼吸法や吟譜も分かりませんでした。次第に腹式呼吸で大きな声を出す詩吟の魅力・素晴らしさ、そして何より古今の有名な漢詩や短歌に触れることができました。

た。現在詩吟四名詩舞二名で活動しており各種大会個人コンクール芸能祭などの催しにも参加しております。そして「継続は力なり」のように近年篠ノ井大会では毎回団体優勝をするようになりました。

詩吟は奥が深くまだまだ学びの一途ですがこれからも会員同志の交流を深め楽しみながら活動していきたいと思っております。



## そらまめの会

青木 緑

そらまめの会は、平成29年に「民話と伝承を受け継ぐ会」として会員5名で立ち上げた会です。会名の由来は“そら豆の花は空に向かって実をつける・下を向かない”です。平成25年から3年かけて篠ノ井住民自治協議会で発行した「篠ノ井の民話と伝承」に多少係わったこともあり、信里の地に伝わるお話を各集落の皆様にお聞きして掘り起こしてみようという事になりました。お聞きしたお話しは多岐にわたり、どれも興味深いものでした。お話しをして頂いた地域の方々、感謝しております。その中から集落ごとにまとめて紙芝居を作りあげました。今までの作品は10作品です。5名の役割は決まっています。創作脚本は島田利男、絵は小池とよ子、映像担当は桜井美奈子、音楽は小島美智代、語り青木緑、そして活動に賛同してもらい、最近参加した北澤英子、只今6名で活動しています。小学校、お茶のみサロンなどで披露させていただいています。

今年信里小学校創立150周年を迎えました。



絶滅危惧種のシナイモツゴ（ぼんすけ）の保護活動も信州大学の中野蘭先生ご参加のもと、ぼんすけ育成会の方達のご尽力で8年になります（信里で中野先生がシナイモツゴに出会ったのは1996年だそうです！）そこで何か記念になることをしようということで、そらまめの会と、ぼんすけ育成会とのコラボで紙芝居を作ろうと決めました。絶滅危惧種であるシナイモツゴを知ってもらう事、そのシナイモツゴが信里小学校のトトロ池だけに生息している事、地域の皆さんで守ろうという事、それらを子ども達に伝えていこうという事で皆さんの気持ちが一致しました。目下、作成中です。秋頃には完成できればと思っています。

## 読み聞かせボランティア「スノードロップ」

桜井美奈子

この活動は、2003年に信里小学校で募集があり20年になります。当時私の子供が小学生で、「自分の子供に読み聞かせするようにすればいいんだよ」と先生に言われ、本が好きだった事もあり応募しました。今活動している仲間は11名で、信里地域以外の方もいます。主な活動は、朝20分間各教室に行き絵本など読みます。この本の選書が難しく学年に合う本、季節など考えて決めます。子供達の聞く姿勢は真剣で集中して聞いているのでこちらも背筋が伸びる思いです。本によっては大笑いして共感できる事が嬉しいし、やりがい

を感じます。またコロナ禍中も図書館の先生が配慮して下さり、事前にビデオ録画して各教室一斉放送したり、大変でしたが、休む事なく続けてこれました。これも仲間の熱意と協力があったからこそ、気の許せる仲間に出会えた事も感謝です。今後もこの活動を通して子供達が本を好きになってくれるきっかけづくりのお手伝いできればいいなと思っております。



信里小学校150周年「ぼんすけ育成会」「そらまめの会」とコラボで『シナイモツゴ』の紙芝居を発表したいと考えています

サークル活動に興味がある方はこちらまで

広報・公聴部会長 宮下 (有) 6128